



吉川小だより

7月号

京都府亀岡市立吉川小学校 令和8年6月30日発行
〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210
E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



ワールドカップと 日本の誇り

現在開催中のサッカーのワールドカップにおいて、日本代表が強豪国相手に互角以上の快進撃を続け、日本中が沸いています。外国相手に歯が立たず、ワールドカップ出場など夢の話だった昔からサッカーが好きだった私にとって、今の日本代表の勇姿には感慨深いものを感じます。

さて、日本勝利の試合結果の後に、こんなニュースが流れました。

『日本代表、試合後も私たちの誇り』

見出しとともに、日本代表のロッカールームの写真が掲載されていました。部屋はきちんと掃除され、使ったものもていねいに整理整頓されていました。試合後の記者会見で森保監督は、「来たときよりも美しく」という言葉を使われ、そうすることが当然のようにコメントされていました。激闘の末に勝利を収めたのですから、つい気分がうかれてしまいそうですが、自分たちが使った部屋のことにも配慮する日本代表のすてきな行いに、私は心を動かされました。

選手たちだけではなく、スタンドで応援していた日本のサポーターたちも、選手たちと同様に、試合後のスタンドをきれいに掃除しているのです。ゴミ袋を手にして、せっせとゴミを拾い集めているサポーターの方たち。異国の地において、同じ日本人といえど見ず知らずの人たち同士が、お互いに協力しながら会場を美しくしている姿にも感動しました。

サッカーは、世界で最もたくさんの人たちに親しまれているスポーツです。4年に1度行われているワールドカップでは、まず代表チームの勝敗が注目されるのは当然のことです。

しかし、日本は代表チームの強さとともに、選手やサポーターの美しい行いにも注目が集まっています。ワールドカップを主催している国際サッカー連盟の職員さんも、日本サポーターの行動に敬意を表し、いっしょに掃除をしたというニュースも目にしました。日本の考えと行動が、世界に尊敬され、広がっているのです。

「日本代表チームの強さ・たくましさ」と「代表選手とサポーターの相手に対する細やかな心づかい」。この二つは、どちらも日本の誇りと言えるのではないのでしょうか。吉川小の子どもたちに、ぜひ聞かせてあげたいニュースだと思いました。

校長 谷口 浩之